

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 7 年 6 月（着任 1 年 12 カ月目）
主な活動	1 西穎娃駅及び地域活性化の視察対応 2 地域活性化の取り組みに関する打ち合わせ 3 廃校を活用した取り組みの視察

1. 西穎娃駅及び地域活性化の視察対応

指宿枕崎線の沿線地域を活性化させたい、という取り組みですが、今春修了した学校の先生も興味を持っており、視察に訪れていただきました。

鉄道の経済的効用が専門ですが、駅弁を通じた郷土料理文化の継承も視点に地域活性化にも取り組まれており、沿線地域の魅力を発見する目的で視察に訪れました。

指宿枕崎線沿線や西穎娃駅が持つ雰囲気を感じつつも、宿泊所や駅待合室を改良した後の事業展開についてアドバイスをいただきました。

オンラインでこちらの状況をやり取りしていましたが、実際に訪れてみたときの違いを感じたと話され、現地を訪れて現物を見ることで違った展開が見えてくると話していたのが印象的でした。



【西穎娃駅での視察時(掲載許可済)】

2. 地域活性化の取り組みに関する打ち合わせ

「ご当地バレーボール大会」の7月開催に向けて、当日の流れや必要な物品、会場整備に関する打ち合わせを行っています。時刻表の表紙にもなった場所の景観を守りたい、という思いから始めましたが、様々な効果があると感じています。

会場付近では、大会を待ち望んでいたかのように、ひまわりやコスモスが咲き始めており、当日が楽しみになってきました。



【会場整備】



【会場付近のひまわり】

3. 廃校を活用した取り組みの視察

沿線にある建物を利用して、列車で目的地まで行けるような仕組みを作りたい。という思いから、廃校活用の先行事例を学ぶため、鹿屋市にあるユクサおおすみ海の学校を視察参加しました。

運営方法や場所の特徴を聞いたのち、視察に参加した方々との意見交換も行いましたが、活用の面白さや厳しさも聞くことができ、地域活性は一筋縄ではいかないことを感じました。



【ユクサおおすみ海の学校】



【視察参加】